

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和元年6月5日(水) 19時から20時30分
会 場	区役所 第8, 9, 10会議室
テ ー マ	新しい基本構想について「都市・防災・環境」
出席者 区 民	計 18人
区 側	区長 企画部基本構想担当課長 総務部危機管理課長 総務部防災担当課長 環境部環境課長 都市基盤部都市計画課長 まちづくり推進部まちづくり計画課長 まちづくり推進部中野駅新北口駅前エリア担当課長
事務局	企画課職員2人、都市計画課職員1人、まちづくり事業課職員1人
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

テーマ「新しい基本構想について「都市・防災・環境」

区長あいさつ

「都市・防災・環境」というテーマですが、ジャンルがかなり広い範囲にわたっておりますので、みなさん関心が高いところがあると思います。自由に意見を言っていていただいて、我々が作る基本構想の参考にさせていただきたいと思っております。忌憚のないご意見を聞かせていただきたいと思います。

各グループの発表概要

【都市】

- ・今現在、朝や夕方、中野駅はものすごい混雑している。これからますます開発が進み、マンションが増え、昼間人口だけでなく夜間人口も増加が見込まれるが、今の計画のままで、中野駅は大丈夫なのか。
- ・中野駅はエレベーターがないので、駅の開発により、エレベーターが設置され、バリアフリー化が図られるといい。
- ・中野区は公園面積が少ない。
- ・平和の森にトラックができて公園としては機能するといわれているが、本当に大丈夫なのか心配。
- ・公園をいかにして利用していくか。住んでいる人も働いている人も、子どもも高齢者も交流できる場になるといい。
- ・開かずの踏切といわれていた西武新宿線の連続立体交差化事業が進み、交通の動きも変わりつつある。中野通りの桜が有名だが、倒れるのではないかと心配。植え替えて次の世代に受け継いでいけたらいい。
- ・空き家についてのアンケート結果で、地域のためなら活用してもいいという回答が数%あったが、区は実際にその人たちにアプローチしているのか。意思表示してくれている人に対して、区がアプローチをしていくことで、若い夫婦などに安く貸し出すなどすれば出生率を上げることもできるし、NPOや文化・芸術系の人たちに安く貸し出せば人も集まってきていいのではないかと。
- ・中野駅以外の駅については、あまり知られておらず、引越先を探すときなど、選択肢として外れてしまっている。
- ・中野坂上のビルについては、西新宿と比較して7割ぐらいの家賃で、大江戸線も通り始めたので、このビルに会社を増やしていけたらいいのではないかと。
- ・中野区内の鉄道路線のほとんどは東西方向に走っており、南北方向への移動がしづらいため、南北の交通がより充実するといい。

【防災】

- ・中野駅周辺の再開発でビルやマンションが増えるが、災害が起きた際の避難場所は四季の森公園だけで足りるのか。
- ・若宮や大和町や野方などの木造住宅密集地域について、道路の拡張などが進められているが、まだ十分ではないので、これからも地道にやってほしい。
- ・災害に備えて飲み水を確保したほうがよい。また、災害にあった時どこに逃げたらいいかなど、働く世代や若い世代には、情報が届いていないことがあるので、キャンペーンや広報を強化したほうがよい。さらに、町会に入ったほうが、そういった情報も受け取りやすくなるので、町会加入を促進したり、地域の防災訓練への参加も促したほうがよい。
- ・今後、防災情報の発信について、デジタルサイネージの活用もしていくといい。

【環境】

- ・羽田空港の新航路による騒音が心配である。区のほうでも対応を考えたほうがよい。
- ・新しく家を建てる時に木を植えるという条例をつくると、緑も増えるし、景観も保たれていいのではないかと。
- ・地域によって、ごみの集積所での収集と、家の前に出す方式があるが、見た目もよくないので、集団収集のほうがいいと思う。

【その他】

- ・商店街が減少しており、町会の未加入者も多い。地域活動とか地域の活性化が心配である。
- ・心のバリアフリーを充実させてほしい。若い人たちがたくさん住んでいるが、昔から住んでいる人との交

発表に対する区長のコメント

【都市】

- ・道路の拡幅整備を進めているが、まだ未整備の地域もあるので、今後も頑張っていきたい。
- ・中野区は小さい公園はたくさんある。公園の使い方については、近隣住民との話し合いが必要となるが、今まで以上に色々なことができる公園にしていきたい。モデル公園を決めてやっていきたい。
- ・空き家について、アンケートで空家を区や地域で使っているかという回答した人にアプローチしているかは確認する。
- ・西武新宿線沿線はこれからますますよくなると考えている。
- ・中野坂上のオフィスは、これから新宿にでたいという、意欲がある企業が入居していると聞いている。

【防災】

- ・中野駅前含め、区内全域で災害が起こった時に、実際に逃げられるか、どこに逃げればいいのか、行政として具体的にシュミレーションしないといけないと思っている。
- ・中野駅周辺では帰宅困難者についての訓練をやっている。
- ・災害時の外国人観光客への対策も考えていかないといけない。
- ・震災の火事の一番の原因は、復旧して通電した際にショートして起こる火事である。感震ブレーカーや、万が一火事が起こっても家具の下敷きにならず逃げられるよう、転倒防止用具の取り付けの啓発をしていきたいと考えている。

【環境】

- ・羽田空港の航路変更の騒音については、これから説明会があり、そこで音についてのシュミレーションもある。
- ・ごみの収集については、相続などで土地が細分化され、新しく転入した人がごみの収集場所について反対すると、戸別収集になってしまう。区としても、今後戸別収集が増加すると対応しきれなくなってしまうので、集積所収集の協力をお願いしたい。

【その他】

- ・商店街の減少は悩ましい。高齢者が街に出て会話してもらったり、見守ってもらったりとこれからこそ商店街が必要と考えている。区としても意識を共有して支援していきたい。